

ガーナでそろばんプロジェクト第80号(2018年12月10日)

★★ 指導を見つめなおす ★★

二、三か月間の間に学校の様子がだいぶ変わってきました。それは、ブロック塀が出来たことです。これまでは、お世辞にも塀とは言えない垣根で覆われ、それが朽ちると教会帰りの人たちが、時々朽ちた部分から校舎内へ入ってきて、それが私のストレスの一つでもありました。今は、その部分は完全にブロック塀になったので、この場所からの人の侵入はないので開室中はとても外部の侵入がないだけで、とても静かに感じる教室となっています。ただ相変わらず、にわとりが教室に入ってくるのが時々ありますが、そうした時は、私が追い払う役となっています。

十一月のそろばん教室は、ダバスの五〇回の皆勤賞がありました。本当にうれいす。これに弾みをつけて“マイそろばん”も手にしてほしいです。十一月に入ると、十月の騒々しい人数に比べるとだいぶ落ち着いたように感じました。しかし、人数的には落ち着いたけれど、ついつい声を荒げてしまう私がいまいました。位取りがなかなか理解できないでいる。指の使い方が違う。姿勢が悪い。ことごとく目についた事に苛立ち優しく指導できないでいました。また、ほんの少しやって、少しだけ人よりも進んでいるだけで、“自分は優れている”という思い込みがちな子どもにもたいして優しく指導できないでいました。自分の指導の方法をまた改めて考える時なのだと思います。

十二月に入り、スクールバケーションと年に一度のお楽しみ行事“クリスマス”が間もなくやってきます。心おだやかに、声を荒げることなくスクールバケーション中の教室を開室していきたいと思っています。

報告 TOSHIKO

協賛

トモエそろばん様

